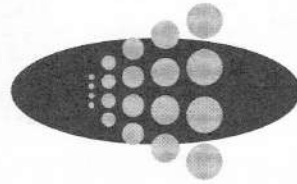


躍進
Y A K U S I N

株式会社 加藤組社内報「躍進」
発行日／平成10年8月7日
男鹿市脇本脇本字向山18-6
TEL0185-25-3001(代) FAX0185-25-2234

No.24



KATO

光飯商事株式会社
日本アスコン株式会社
秋田建設運輸株式会社



「暑中お見舞い申しあげます。

盛夏の候

平成10年8月

「平成10年度安全大会」開催

去る7月2日、当社構内の加藤道場において、平成10年度安全大会が開催されました。



毎年恒例となりました加藤組の安全大会。日頃の安全管理に対する意識を再確認するとともに、協力会社各社との一層の協調関係を深めることを目的とし、今年も全国安全週間の行事の一環として開催されました。

当社からは社員38名、準社員19名、合計57名が出席。また、協力会社からは44社57名のみなさんが参加され、ともに前年度

よりも高い出席率となりました。安全に対する意識が高まっている現状が反映した結果ではないかと思えます。

今年度の安全表彰者には、協力会社から秋田造船鉄工と塚本商会の2社と、個人では小熊憲史さん、下間正さん、鈴木義博さんの3名が選ばれました。秋田造船鉄工の方からは、協力会社代表として安全発表もしていただきました。

また、秋田労働基準監督署より講師として第1方面主任監督官の掘田秀明氏をお招きし、「安全ですか？ その行動」という演題で作業中の安全に対する心構えについてお話していただきました。

毎日の作業の中で十分心掛けているつもりでも安全管理ですが、このように「安全を考える」場をもつことによって、新たな配慮を期待します。

「安全と企業繁栄」

安全衛生委員会委員長 鈴木耕一



毎年恒例の全国安全週間が7月1日から7日まで全国一斉に実施されていることは、皆様御承知のとおりです。

当社の安全大会もお陰様を持ちまして7月2日、多くの協力会社並びに従業員の参加をいただき、無事挙行了きましたことを、皆様に「ご報告申し上げます。

「企業は人なり」と言われます。人命を最優先し、安全を最優先することが、優秀な人材を育成する基盤となり、企業の繁栄、発展につながるものと確信いたします。社員一人一人が強い安全意識を持ち、仲間を思いやる気持ち、強い絆のチームワークで業務を推進し、当社の永久的繁栄を築いて参りたいと存じます。

皆様方の御協力、よろしくお願い申し上げます。

加藤義孝氏・著

「緑と風と海光と」

発刊！

加藤義孝氏が、社団法人男鹿市観光協会の会長として、長く男鹿観光発展のために尽力されてきたことはつとに知られているが、このたびその二十三年にわたる活躍の軌跡を一冊の本にまとめられた。

男鹿半島といえば、今でこそ国定公園として年間二百万人以上の観光客が訪れる全国有数の観光地であるが、最初からそうであったわけではない。現在にいたる過程には多くの困難が立ち塞がり、またそれをのりこえる多くの人々のさまざまな努力が必要とされたのである。著者は昭和四十五年協会会長に就任しているが、その後の活動はまさに困難に立ち向かう創意と努力の歴史であり、男鹿観光の発展とともにあゆむ姿でもあった。

未整備の交通網・観光業者の意識改革・観光客の減少する冬期間の対策・協会の財政基盤の整備など、問題はさまざまであった。それに対し定期観光バスを実現させ、観光釣り大会・ビーフカントリーフェスティバル・みちのく五大雪祭りなど多くのイベントを企画し、観光シンボルとしてナマハゲを全国各地に派遣（のちの話だが、ついには「世界雪祭り」でスイスにまで招かれる）するなど、観光とは「一に宣伝二に宣伝、三、四が無くて五に宣伝」と語る、著者のバイタリティには驚嘆させられる。

こうした努力から男鹿半島は念願の国定公園の指定を勝ち取る事となる。この時の著者を含めた男鹿の人々の喜びようが行間からにじみでるようで、読んでいるこちらまで嬉しくなってくる。

観光協会自体も、有料道路の管理委託を得て財政が整備されるに伴いスタッフも拡充され、北海道の層雲峡、静岡県南伊豆町（のちには岩手県雫石町も）と姉妹観光協会となるユニークなところみが続ぎ、ついには社団法人

人の資格を得るにいたるほどの発展をみる。

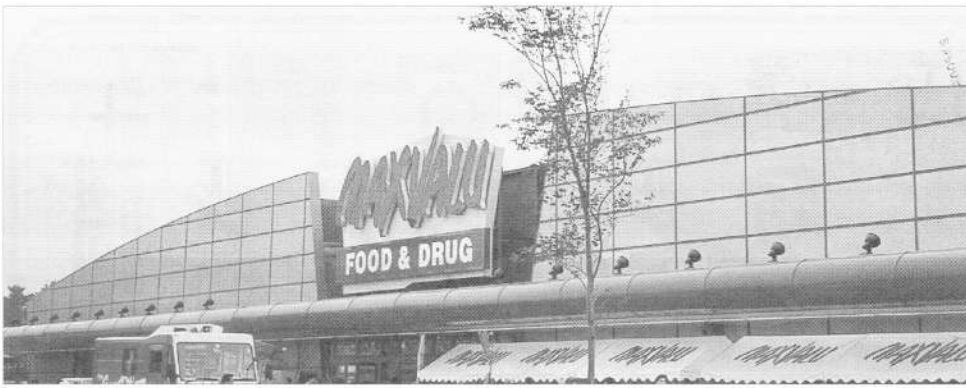
しかし順調にみえた男鹿の観光も、昭和五十八年の日本海中部地震では甚大な被害を受け、観光客のキャンセルが相次ぐなど大きな危機をむかえる。それでも著者はめげることなく、さっそく「日本海中部地震お見舞い御礼キャラバン隊」を組織して各地に派遣している。こうした行動力・強さはどこからくるのであろうか。著者は「観光は文化である」と言い切っている。そして男鹿の美しい自然にふれた人々が少しでもこころ豊かになってもらいたい、一人ひとりの豊かなこころが明るい家庭を築き、明るい家族の集まりが平和な国家を造り上げ、平和な国家の連合が、世界中の人々の幸福と安寧をこの地球上に実現していくのであると語っている。この観光にかける信念こそが、会長職という激務を長期にわたってつとめさせた原動力であったに違いない。

男鹿半島にとって観光はもっとも重要な産業である。そのあゆみを、随所に歴史背景や観光スポットの紹介をはさみながら、読みやすい文章で的確にまとめあげた本書は、関係業者・地域住民のみならず、広く県民に親しんでもらいたい一冊である。

(A5判・192ページ)



現場レポート



天王ショッピングセンター 新築工事（仮称）

工事名	（仮称）天王ショッピングセンター新築工事
発注者	東北ウエルマート
敷地面積	27,855㎡（A棟=マックスバリュ―建築面積3,650㎡、 B棟=テナント棟建築面積2,563㎡）
工期	平成10年2月4日～6月26日

本工事は、当社が初めて施工する民間発注の大規模工事であり、工事施工はもとより、関係省庁及び周辺地域住民への対応等全て当社で責任を持って対処しなければならぬという内容の契約でした。工事は少ない日数で仕上げなければならぬし、かつ周辺住民からの苦情及び要望を適宜対処するという毎日が続きました。発注者からの要望は受注金額からするとかなりきつい内容の施工となり、施工方法は公共工事とは異なることは必然となりました。ちよつとした工夫や経費の節約を常に念頭に入れての作業となりました。

最大のプレッシャーは、店舗開店日とその2週間前の植樹祭でした。これらのイベントを支援なく開催するための工程管理及び作業優先順序を作成し、それらを土木工事のみならず、建築工事関係者への打合せ指示等を着実に実行していく事も、より完成を現実化させるための最も有効的な手段でありました。

外構工事は本来建築工事の付帯的要素が非常に多い工事ですが、建物の最後の仕上げの化粧だ、という思いをより一層強く致しました。

最後に、工事にあたられました皆様に感謝致します。



土木部部长
佐藤 忠成

この現場は、工期と予算が非常に厳しく、当初本当にオープンまでに出るものかと不安でありました。自分としては、昨年大潟村Aコープを手掛けていたので、各作業室の取合等納まりはわかっているのですが、今回もなんとかなると思いつながら現場を進めていきました。

東北ウエルマートはイオングループということで、ジャスコ系列であるため、毎週の実例打合せ、各検査等何かと難しいことを指示してくると思われましたが、それほどでもなく、特に配筋検査、生コン打設立会等も一切なく、工事は順調に工程通り進みました。

現場では、毎日朝礼や職長会議等を実施し、工程上支障のないように話し合いました。

オープン前になって、図面以外の要求が多くなり、特に電気工事が多く、多少バニクツておりました。

現場では、施工上、予算上いろいろ問題はありましたが、無事故無災害で、無事オープンできホツとしております。

尚、現場に携わった小熊主任、板垣君にとっても勉強になった現場であり、これでまたひとまわり大きく成長したことと思います。



土木部次長
伊藤 満

土崎舗装維持修繕工事

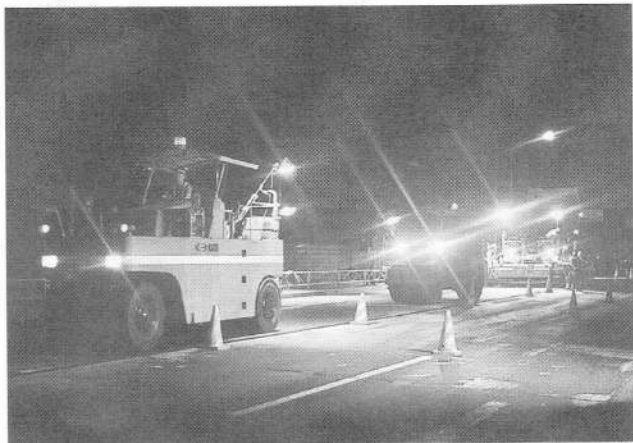
現場代理人
土木部主任
原田 康文

夏の日差しが照りつけるこの頃、いかがお過ごしでしょうか。まずは皆様暑中お見舞申しあげます。

さて、今回私が担当している夜間の道路工事現場の現況等についてご報告致します。

工事場所は、秋田市土崎の港交差点から相染跨線橋までと、秋田市飯島の飯島三叉路から飯島地下道付近までの一般国道7号で総延長は1,566mです。

道路構成は上下2車線ずつの計4車線道路です。



工事期間は、平成10年5月9日から平成10年8月20日までです。

施工の主な工種は、切削工、オーバレイ工、カッター目地工です。

カッター目地工というのは、よく土崎地区を通る際、横にひび割れている箇所がありますが、舗装完了後にカッターでその部分を切断し、目地材を注入する工事です。

現在は、切削工、オーバレイ工が完了しカッター目地工も残り300mとなっております。

上記の作業は全て夜間工事（夜9時から朝6時まで）で、4車線の工事を一部仕切りながら行います。道路を仕切れることを規制するというのですが、その規制方法について若干ご説明します。

上下2車線ずつの計4車線道路について、上下いずれか2車線を閉鎖し、残り2車線を一般車両の通行に当てます。よって一般車両は対面通行となります。閉鎖した2車線を工事し、作業が終ると規制を反対にします。

道路に段差を残したままにしておけないので、一晩で4車線をしなくてはなりません。

夜間の国道上での作業では、この規制開始時、規制変更時、規制解除時が最も危険だと言われております。

皆様も、もし時間がありましたらバズルを解く要領でチャレンジしてみてください。ちなみに車は、時速60km以上のスピードです。また夜間と言えども車はとぎれることなく通過します。（車を止めると苦情がきます）失敗すれば実際は重大事故です。

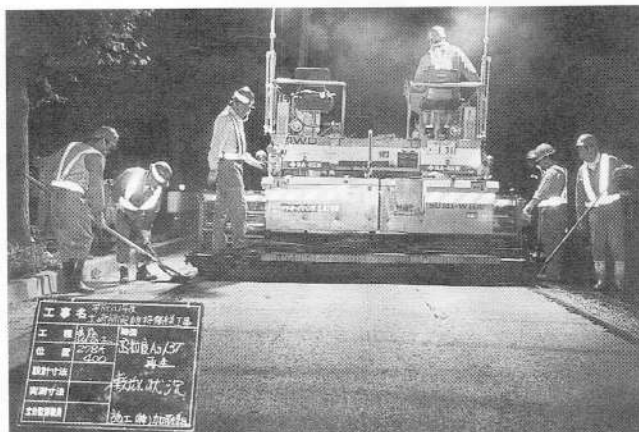
実際の作業の前に、この規制が果たしてうまく出来るかが、不安でした。

この不安を見事に解消してくれたのが下間主任です。1日目は、流石に時間がかかりましたが、2日目以降は昔の勘を取り戻し、迅速かつ正確に行うことができました。

次の不安は、作業のやり方について意見の食い違いが生じ、チームワークに乱れが生ずるのではないかとということ。心の乱れがあつては、安全な作業ができません。これは、作業前のミーティングで、その日の作業及び作業する人の配置等についてできるだけ細かく打ち合わせしました。

その次の不安は、一般車両において、酒酔、居眠り、ぼんやり運転等に対する対策です。現に7月24日早朝、居眠り運転の車が、工事の保安施設に突っ込むという事故が発生しました。交通整理員の方が、直前に逃げて突き指程度であった事が幸いでした。車を運転していた方も、軽い打撲で済んだよう

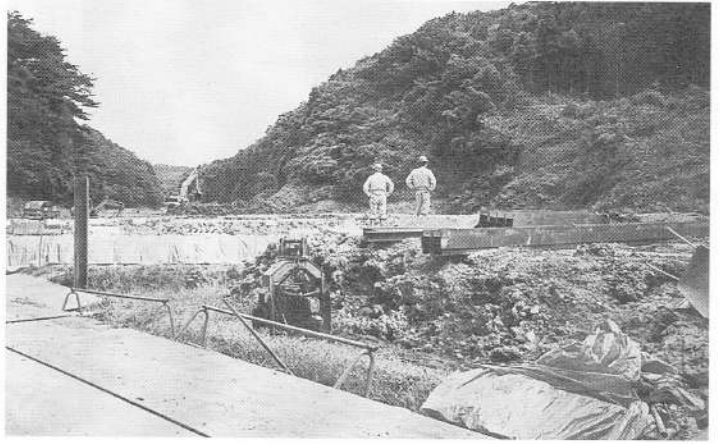
です。この不安に関しては、まず第一に比較的安全な位置での作業を心掛けること。及び、逃げる方向、位置について確認を忘れないことです。



これらの事を実行するに当り、土木本部長初め、土木部、社内安全委員会等会社の総力をあげてバックアップしていただいております。

最後になりましたが、施工にたずさわった当社の方々並びに協力会社の皆様に、この場をお借りしてお礼申し上げます。

尚、残りの工事も後少しとはいえ、「百里の道を行くならば、九十九里を持ってなかつたら」との精神で最後まで気を緩めること無く安全作業に徹したいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻どうぞ宜しくお願い致します。



日本海沿岸東北自動車道 勝手川橋（下部工）工事

手地内に橋台3基および橋脚4基の計7基の構造物を築造する工事です。工期は平成10年3月27日から平成11年9月17日までの540日間です。発注者は日本道路公団東北支社、請負者は栗原組・日建工業・加藤組経常建設共同企業体です。

工事の特徴として勝手川地区に直径8.5メートル、深さ17メートルの基礎杭の施工が2本と、直径2.5メートル、深さ15メートルの基礎杭の施工が12本となっております。また、平田沢川地区の橋脚の高さも36メートル級が2基あります。したがって、事前に労働基準監督署に提出する掘削に関する届出

や足場及び支保工に関する届出も事前に提出する必要があります。苦勞しているところでありませう。

企業体の職員の構成として栗原組から現場代理人の小松さんと田代さん、また日建工業から監理技術者として柴田さん、当社加藤組より主任技術者として石川と夏井弘康が出向して現場監理をしています。施工場所が勝手川地区と平田沢地区に分かれています。連絡距離は2キロメートルの離れがあり、担当を決めて現場の管理を進めています。安全面に対しては特に管理を十分にしよう努めています。毎朝の安全ミーティング及び安全巡視を実施し、



(左) 土木部課長 石川 守
(右) 土木部 夏井 弘康

日本海沿岸東北自動車道勝手川橋（下部工）工事の現場紹介をします。工事施工場所は秋田県由利郡岩城町勝

OAシステム開発室について

室長 鈴木 浩悦

自社電算室の担当部門として組織されたシステム開発室は現在6名で構成されており、富士通との協力体制でOA機器販売やソフト開発を中心に地元を拠点とした活動を行っています。

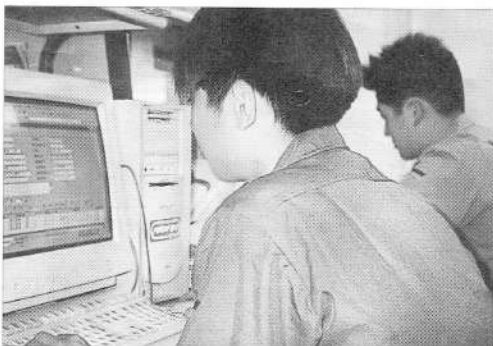
自社開発の工事原価・給与・経理システムなどの直轄系と、富士通秋田システムからの作業依頼（医療）の2系統で実働しており、最近では秋田赤十

字病院の総合医療情報システムのプロジェクトメンバーとして約20人月の契約にて技術支援しておりました。

今後、富士通秋田システムとは医療開発班の協力会社として続けていく予定です。また、今年3月よりナマハゲネット（男鹿地区インターネット協議会）のサポート部門として委託業務も開始し、地道ではありますが地元的情

報ネットワーク事業にも協力し、我が社においてもインターネットの活用を積極的に利用していきたいと思っております。

これからは開発要員を確保する事ももちろんですが社内での社員教育体制も整え、部署全員の技術レベル向上で多方面の需要にも恥ずかしくない人間の集団でありたいと望んでおります。



システム開発室
(左) 登藤 信悦 (右) 鈴木 良

不安箇所、環境対策等にも配慮しています。また、工用道路は農家の方々も通る農道でもあり、「農作業車両最優先」の看板を設置し、地域住民の協力を得ながら、事故に巻き込まないように工事を進めていきたいと思っております。この工事は来年の9月までの工期です。自分の健康管理に気を付けながら工事完成をめざして努力していきたいと思っております。

恒例！Youモ〜輪村

平成10年6月21日(日)、寒風山大噴火口跡で毎年恒例のYouモ〜輪村が開催されました。当日は心配されていた天候にも恵まれ、多くの家族連れや若者たちで会場は大変なにぎわいでした。



成績表

刈TING大会

- 優勝 高橋忠靖さん 21.35kg
(男鹿市脇本)
- 準優勝 菅原光夫さん 21.33kg
(秋田市新屋)
- 3位 薄田行雄さん 22.16kg
(男鹿市五里合)

はつらつかントリーレディー

- 優勝 斉藤美香さん(男鹿市北浦)
- 準優勝 夏井里江子さん
(男鹿市船川港)

サツ缶ーンゲーム

- 優勝 桜田待代子さん・志織ちゃん
(湯沢市清水町)
- 準優勝 加藤マキ子さん・隼くん
(男鹿市脇本)
- 3位 木島健二さん・宮野崇也くん
(秋田市千秋城下町)

祭りの目玉である刈TING大会は、とてもレベルの高い争いとなりました。今年の規定重量は21.6kg。動だけで刈る競技ですが、今回は1位も2位も、規定重量との差がわずか0.3kgというすばらしい記録でした。30人の出場者の中には、鎌を持つのも初めてという在住外国人のほか、市外からも多くの参加者がいました。

その他、サツ缶ーンゲーム、はつらつかントリーレディーなど、たくさん催し物が繰り広げられ、会場では笑い声が絶えませんでした。また、牛肉の鉄板焼は、焼いても焼いても足りないほどの大好評ぶりでした。

閉会式では、前売券と当日券に付いている抽選で大いに盛り上がり、「当たったあー」と叫んで、手を挙げて走ってくる人もいました。誰もが参加できて楽しめる「Youモ〜輪村」は、今年も大成功でした。



青藤会 研修旅行



6月12日〜13日、青藤会による研修旅行が実施されました。目的地は宮城県の気仙沼。12名が参加されました。

当日、8時30分に本社前を出発の予定でしたが、2名まだ来ておらず、連絡を取ってみると、旅行の日程を間違えて出発は13日だと思っていたようです。結局2名は南インターで合流するというハプニングがありました。バスの中は飲んで歌っての宴会場となり、大いに盛り上がりました。

大島合同汽船で大島に渡り、亀山リフトで山頂へ。雄大な景色を眺めました。立ち寄った海の市では、海産物がところ狭しと並べられ、マグロのバラ売り、ホタテ等新鮮なものが豊富で、買物を楽しむ人もいました。しかし毛越寺で、雨のため散歩を楽しむことが出来なかったのは残念でした。

今回は、全体的に天候にも恵まれず、参加者も少なかったため、次回はぜひ多くの人に参加してもらいたいと思います。



なるほど 四字熟語

「五十天命」

『論語』の中の有名な言葉で「五十にして天命を知る」と読む。晩年になって、孔子が自分の残してきた足跡を振り返ったとき、五十歳にしてはじめて自分に課せられた天命を悟った。

孔子の『回顔録』にある言葉。子曰く「我、十有五にして学を

第20回 加藤杯争奪選抜 少年野球大会

優勝 男鹿東中学校！

日時／平成10年6月7日(日)

開会式 8時30分

試合開始 9時

場所／男鹿東中学校野球場

主催／株式会社 加藤組

がんばれ！ 新入社員

平成10年4月1日入社

夏井 里江子

昭和49年10月10日生

拓殖大学商学部経営学科卒業



おめでとーございます

(株) 加藤組 成田義則さん

無事故請負者の現場代理人表彰

(河辺他舗裝修繕工事)

秋田県建設産業構造改善推進大会

平成10年6月2日、秋田県知事寺田典城氏より、業務に精励し、技術技能の向上、後進の指導育成に貢献したとして表彰されました。

安全標語

慣れ合いで するな
させるな 安全管理

夏井 直弥

暑中お見舞い申し上げます

クイズ

日本が初参加して話題になったワールドカップサッカー。優勝した国はどこでしょう。

1. ブラジル
2. フランス
3. クロアチア

正解者の中から抽選により3名様に豪華記念品を進呈。
(締切/平成10年9月10日)

50 0 1 0 0 3 4 2

株式会社
加藤組
クイズ係行

男鹿市脇本脇本字向山18-6

クイズの答え

住所
氏名
年齢
性別
TEL

はあきんぐ

前川しんすけ

